

ヒアリング調査などを通じて見えてきた課題など

1 特徴・利点

- ・芸術に関心のある人や関連する活動を行っている人が多い。
- ・ボランティア参加者の意識が高く、自主性を持って参加する人が多い。
- ・周辺で開催されるイベントとの相乗効果や教育機関などとの協働も可能。
- ・何年も継続しているイベントが多く、次世代への継承も図られている。
- ・ハード、ソフトが充実しており、都心に行かなくても良質な作品の鑑賞が可能。

2 課題・要望など

(1) 広報活動

- ・参加者増加に向けた、周知徹底のための手段、方法、タイミングなどの工夫が必要
- ・ホームページ、既存組織(町内会・自治会)等への協力の検討

(2) 連携について

- ・一部イベントでの連携は既に行なわれているが、さらに拡大した連携の取組が必要
- ・子どもから大人まで世代を超えた参加と区民、学校、団体、行政間の更なるネットワークの構築が必要

(3) 施設・設備関係

- ・練習場所などの活動の場が不足
- ・既存施設の音響設備の改善が必要

(4) 環境整備

- ・イベント開催時の案内や掲示などの制限が多く、「にぎわい」を演出することが困難(特に、新百合ヶ丘駅周辺)

解決策の検討

1 文化担当官(仮称)の設置

* 地域の芸術・文化団体との連携、幅広い地域情報の収集・発信、子どもから大人まで多くの区民が更に芸術・文化を楽しめる体制づくりが必要。それらの調整と相談機能を合わせもった窓口の設置

2 麻生文化会議(仮称)の設置

* 各種イベントの実行委員会、団体の代表者・関係者が一同に会し、年間を通じた情報発信、相互協力を行なう目的で実施。
・広報協力、人材交流、地元芸術家や団体間のネットワークの強化、連携した取組の企画・検討など



3 川崎市都市景観条例の弾力的な運用の検討

* 新百合ヶ丘駅周辺における条例の弾力な運用に向け、イベント開催時の広告幕、のぼりや立て看板の設置など、関係者を交えた協議を進め、**美観**と「**にぎわい**」が共生した街づくりに向けて検討

